

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名：一般国道44号 <small>ねむろ</small> 根室道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北海道開発局			
起終点：自： <small>ほっかいどう ねむろ おんねとう</small> 北海道根室市温根沼 至： <small>ほっかいどう ねむろ ほにおい</small> 北海道根室市穂香	延長：7.1 km				
事業概要： 一般国道44号は、釧路市を起点とし、根室市に至る延長約124kmの幹線道路である。 このうち根室道路は、現道の交通事故低減及び冬期間の地吹雪等による冬期交通障害の解消による道路交通の定時性、安全性の向上等を目的に、現道を迂回し、温根沼インターチェンジ（仮称）から根室インターチェンジ（仮称）に至る延長7.1kmの一般国道のバイパス事業である。					
H11年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H12年度用地着手 H17年度工事着手			
全体事業費：約202億円	事業進捗率：79%	供用済延長：0.0km			
計画交通量：4,800台/日					
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"> B/C： (事業全体) 1.003 (残事業) 4.4 </td> <td style="width: 40%;"> 総費用： (残事業)/(事業全体) 52/230億円 (事業費：33/211億円) (維持管理費：19/19億円) </td> <td style="width: 40%;"> 総便益： (残事業)/(事業全体) 231/231億円 (走行時間短縮便益：196/196億円) (走行経費減少便益：26/26億円) (交通事故減少便益：8.9/8.9億円) </td> </tr> </table>	B/C： (事業全体) 1.003 (残事業) 4.4	総費用： (残事業)/(事業全体) 52/230億円 (事業費：33/211億円) (維持管理費：19/19億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 231/231億円 (走行時間短縮便益：196/196億円) (走行経費減少便益：26/26億円) (交通事故減少便益：8.9/8.9億円)	基準年： 平成29年
B/C： (事業全体) 1.003 (残事業) 4.4	総費用： (残事業)/(事業全体) 52/230億円 (事業費：33/211億円) (維持管理費：19/19億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 231/231億円 (走行時間短縮便益：196/196億円) (走行経費減少便益：26/26億円) (交通事故減少便益：8.9/8.9億円)			
感度分析の結果： 事業全体及び残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量：B/C=0.9~1.2（交通量±10%） 【残事業】交通量：B/C=3.8~5.1（交通量±10%） 事業費：B/C=0.99~1.02（事業費±10%） 事業費：B/C=4.2~4.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.003~1.003（事業期間±20%） 事業期間：B/C=4.4~4.4（事業期間±20%）					
事業の効果等 事業の必要性及び効果					
①交通障害の緩和 ・国道44号の通行規制時の代替路を形成し、道路交通の確実性及び安全性が確保され、地吹雪に起因する交通障害の緩和が期待される。 ②主要都市間の利便性向上 ・根室市と釧路市間の所要時間が冬期で3分短縮され、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待される。 ③水産品の流通利便性向上 ・速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、道内外に出荷される水産品の流通利便性向上が期待される。 ④救急搬送の安定性向上 ・釧路市と根室市間の速達性及び確実性の高い搬送ルートが確保され、救急搬送の安定性向上が期待される。 ⑤観光地への利便性向上 ・観光地間の移動における安定性及び快適性の高い周遊ルートが確保され、主要な観光地への利便性向上が期待される。 ⑥道路交通の安全性向上 ・並行する国道44号の死傷事故の低減が見込まれ、道路交通の安全性向上が期待される。 ⑦日常生活の利便性向上 ・バス運行の確実性及び安全性が確保され、都市間バスの利便性向上が期待される。 ⑧CO ₂ 排出量の削減 ・自動車からのCO ₂ 排出量1,196 (t-CO ₂ /年) の削減が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 根室市など1市4町の首長等で構成される「根室地方総合開発期成会」等から早期整備の要望を受けている。					

知事の意見：

現道の交通事故低減及び地吹雪等の冬期交通傷害の解消により、道路交通の定時性や安全性の向上等が図られ、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続について異議はありません。

なお、事業の実施にあたっては、平成11年2月12日付け道計第406号「一般国道44号根室道路（根室市）に係る環境影響評価準備書に係る意見について（回答）」の知事意見を遵守するとともに、より一層の徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努め、早期完成を図るようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・北海道横断自動車道が本別IC～阿寒IC、訓子府IC～北見西ICまで開通
- ・国道38号・44号 釧路外環状道路 釧路西IC～釧路東IC開通
- ・国道38号 釧路新道 全線開通（暫定2車線を含む。）
- ・国道272号 上別保道路 部分開通（L=1.2km）
- ・釧路市、阿寒町及び音別町が合併し、釧路市が誕生
- ・風蓮湖及び春国岱がラムサール条約湿地登録、釧路市及び弟子屈町が「水のカムイ観光圏」に認定、道東地域が広域観光周遊ルートに認定、釧路市が観光立国ショーケースに認定、阿寒国立公園が国立公園満喫プロジェクトを策定
- ・釧路港が国際バルク戦略港湾（穀物）及び特定貨物輸入拠点港湾（穀物）に指定

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成17年度に工事着手して、用地進捗率99%、事業進捗率79%となっている。（平成29年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

舗装工、軟弱地盤対策工、埋蔵文化財の追加調査等の見直しにより、事業費が増加している。引き続き、コスト縮減に取り組んでいく。

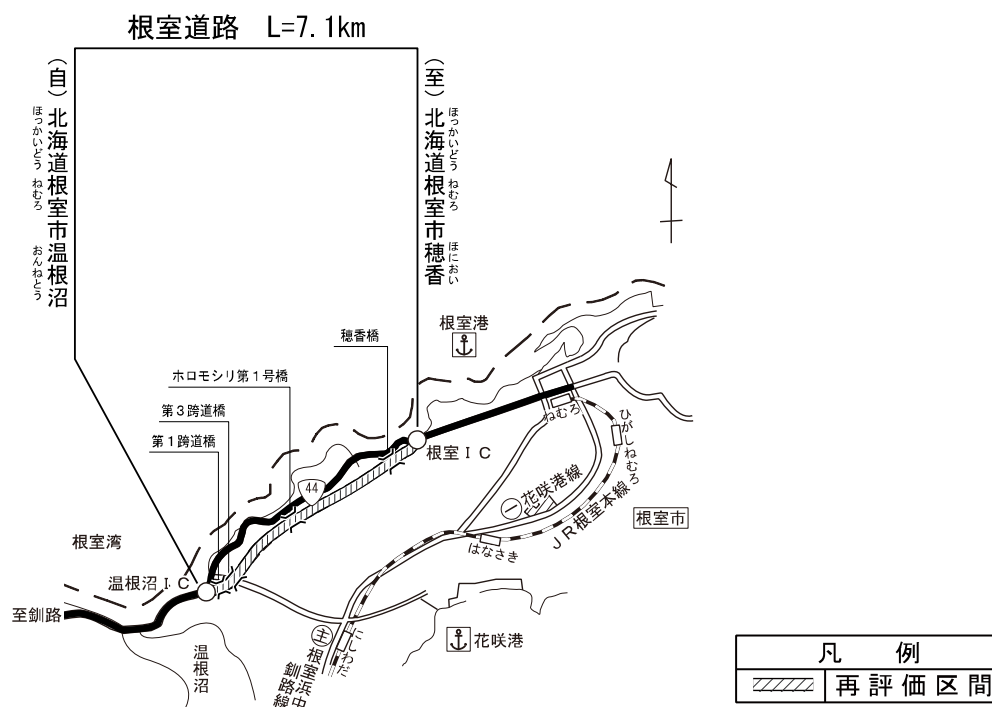
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。